

2025 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	戸谷 浩
演習テーマ	ヨーロッパ地域研究/横浜学・神奈川学・国際学
内容と 卒業論文の 指導方針	<p>本演習においては、ヨーロッパ地域研究ないしは横浜学・神奈川学について学生たちが積み上げてきた関心と蓄積を、卒業論文という形に結晶化させることを目指す。</p> <p>3A では「中間報告会」が、3B では「最終報告」が課され、進度のチェックが図られる。</p>
メール・アドレス	toya@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	月曜 3 限
授業概要	<p>3Aにおいては、横浜や神奈川の国際的な側面に関する調査・研究・報告をグループワークとして行なってもらう。それと並行して、各自の卒論の進捗状況を確かめるべく、個別面談も設定する。</p> <p>3B では、卒論の提出を視野に入れながらの「最終報告」を行なってもらう。その場で得られた批判や助言が、卒論の完成に活かされることが期待されている。</p>
学習目標	<p>3A の期間中（5 月末か、6 月上旬）に、外部からの参加者も想定する「卒業論文中間報告会」を行なう予定である。まずはこれを目標にして、立論の構成や結論の見通しに一定の目途がつけられるようにしたい。</p> <p>3B では、「最終報告」を経て、最終的な卒論執筆につなげていってもらいたい。</p>
授業計画	<p>【第1回】春のオリエンテーション</p> <p>【第2回】グループワークの説明とグループ分け</p> <p>【第3回】課題に対する文献調査・フィールドワーク（1）</p> <p>【第4回】 同上（2）</p> <p>【第5回】 同上（3）</p> <p>【第6回】 同上（4）</p> <p>【第7回】 同上（5）</p> <p>【第8回】卒業論文中間報告会</p> <p>【第9回】グループワークの発表（1）</p> <p>【第10回】 同上（2）</p> <p>【第11回】 同上（3）</p> <p>【第12回】 同上（4）</p> <p>【第13回】 同上（5）</p> <p>【第14回】春学期の振り返り</p> <p>【第15回】秋のオリエンテーション</p> <p>【第16回】「最終報告」の解説と割り振り</p> <p>【第17回】「最終報告」（1）</p> <p>【第18回】 同上（2）</p> <p>【第19回】 同上（3）</p>

	<p>【第 20 回】 同上 (4)</p> <p>【第 21 回】 同上 (5)</p> <p>【第 22 回】 同上 (6)</p> <p>【第 23 回】 同上 (7)</p> <p>【第 24 回】 卒論の個別指導 (1)</p> <p>【第 25 回】 同上 (2)</p> <p>【第 26 回】 同上 (3)</p> <p>【第 27 回】 同上 (4)</p> <p>【第 28 回】 秋学期の振り返り</p>
予習	発表側・フロアーラーのいずれであっても、報告に対する予習を欠かさない。
復習	授業で得た学びを自身の論文執筆に活かすことを考える。
授業に関する注意事項	「演習 2」までと同様、常に主体的であることが望まれる。
教科書	特に定めず
参考書	特に定めず
成績評価の基準	平常点 50%、卒業論文への評価 50%
関連 URL	なし
認定留学期間中の遠隔指導	○可 / 否 / その他( )
備考	特になし